

10.九州(地域別調査機関:(財)九州経済調査協会)

(-:回答が存在しない、:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	商店街(代表 者)	単価の動き	・今月は一人当たりの販売単価が大きく、いい結果に つながった。
	やや良く なっている	百貨店(売場主 任)	来客数の動き	・先月同様ミドル以上の客の購買に対する行動が、積 極的になってきた。秋物の動きが昨年と比較しても若 干ではあるが良い。
		百貨店(営業担 当)	お客様の様子	・シーズンの変わり目でシーズンを先取りしようとす る動きは少数であったが、今年は多くの客が先取りを しようとする傾向にあり、消費の意欲が好調になって いる。
		百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・7月に引き続き、8月の福岡天神地区は天候にも恵 まれ、百貨店の売上高は堅調に推移し、前年プラスで 終了する予定である。セールだけでなく、秋物の動き も昨年より早く動いている。
		百貨店(営業企 画担当)	販売量の動き	・昨年の猛暑やオリンピックの影響もなく、前年より 日曜日が1日少なかったものの、売上は前年を越えて 推移している。
		百貨店(業務担 当)	販売量の動き	・昨年の反動増も否めないが、夏物衣料、洋品ともに 売上高は増加した。紳士衣料に関してクールビズが 話題となり、消費を喚起した。
		スーパー(店 長)	単価の動き	・今年は猛暑のせいで酒の売上が前年比の175%と好 調で、そのおかげでギフトが前年比113%とわずかな が好調に推移している。衣料品は、新規カテゴリを 入れてやっと前年比104%と、長期苦戦が考えられ る。全体的には前年比106%くらいで推移しているの で新規カテゴリの部分が入った分だけが前年並みに推 移している。
		スーパー(総務 担当)	単価の動き	・全体的に客単価が前年よりも前年比103%と伸びて いるので、幾分客の買上単価の上昇がみられる。
		コンビニ(エリ ア担当)	単価の動き	・天候が良く、飲料中心に売上は伸びている。来客数 は前年比103%で、客単価が同126%であり、特に客単 価の伸びが著しい。客の買上点数が増えていることで 景気の回復の兆しがみえてくる。
		コンビニ(店 長)	販売量の動き	・今年は例年どおり夏場が暑くて、商いは好調であ る。アイス、飲料、その他が相乗効果で客数も増え た。例年より売上、来客数共に増えた。
		衣料品専門店 (総務担当)	来客数の動き	・売上は前年並みで前年同月を下回ってはいない。ミ セス婦人服が好調で販売単価はやや下がっているが、 来客数が増えてカバーをしている。ヤングも来客数が 前年同月比5%程度増えている。着物の展示会を早め に開催したが、客の出足は良い。
		家電量販店(経 営者)	販売量の動き	・客の買い控えがだんだんと少なくなり、比較的当店 から薦めた商品を購入するケースが増えている。
		家電量販店(総 務担当)	販売量の動き	・デジタル家電(薄型テレビ、DVDレコーダー、デ ジタルカメラ)の低価格化に拍車がかかり、台数ベー スで大きく伸長している。
		家電量販店(企 画担当)	販売量の動き	・天候のせいもあるがエアコン関係が動いているのが 特徴である。DVD、薄型テレビも良く動いている。
		その他専門店 [ガソリンスタ ンド](統括)	販売量の動き	・周知の通り、ガソリン価格は上がっているが、数量 は大きく伸びている。クーラー使用により、10%ほど 消費も多い。
		その他飲食[居 酒屋](店長)	来客数の動き	・来客数が増えてきた。
		都市型ホテル (総支配人)	単価の動き	・夏休みに大学生の体育大会が催されて増収となっ た。
	都市型ホテル (副支配人)	お客様の様子	・販売量は順調に動いている。客との会話の中に忙し いという話が頻繁に出るようになった。	
	タクシー会社 (営業担当)	来客数の動き	・全国自治労大会があったために後半は良かった。	
	通信会社(管理 担当)	来客数の動き	・先月に続き、商談数に切れ目がない。	
	通信会社(総務 担当)	販売量の動き	・若干販売量が上向ってきている。	

	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・夏休み期間は、台風の影響も昨年ほどはなく、宿泊ベースでも約2割アップしている。
	設計事務所(所長)	販売量の動き	・あまり大きな仕事ではないが、順調に仕事が取れて順調に消化している。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・高額商品の商談客が増えてきている。
変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・売上は3か月前よりも時期的に悪いが、景気動向からすればあまり変わらない。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・この商店街は年配の方や女性が多いので、天候が良すぎても悪くても動きは少ない。
	商店街(代表者)	単価の動き	・サマーバーゲンに入ったために価格を下げている。来街者は少々増えている。
	一般小売店[鮮魚](店員)	来客数の動き	・なかなか来店数が戻らず、魚も売れない。
	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・天候には恵まれたものの、来客数は前年割れが続いている。文化催事での来客は多いが平日、日祭日共に伸び悩んでおり、ギフト需要も今一歩であった。
	百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・来客数や単価等には大きな変化はないが、秋物商品の動きが活発である。セール明けの8月で苦戦をしいられると思ったが天気にも恵まれた。
	百貨店(販売促進担当)	単価の動き	・8月に入って客単価が極端に落ちた。またギフトも1人当たりの販売件数が減ってきている。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・今の売上実績は、3月以降前年比100%を超えているという状況で、5か月連続で前年実績をクリアし、今月の最終実績は102.9%である。来客数は前年比99.9%で、前月よりも2ポイント以上改善されている。流れとしては堅調さを保っている。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・台風がほとんどなく、夏物商品が売れた。ただお盆期間中の入店が、競合店、他の屋外行楽施設等の競合により少なかった。
	スーパー(経営者)	販売量の動き	・気候の変化や天候が異常のため、作物の相場の変動が激しく、また客も買い控えがあり、必要な分だけの買物になっている。
	スーパー(店長)	来客数の動き	・競争がたて続きに起きて価格があおられ、現状、客が8~10%減っている。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・一番ウエイトの大きかった食料品を見ると、どうしても進物、ギフトが中心であった。単価、客数はあまり変わっていないが、販売量が変わっているということが顕著であった。
	スーパー(店長)	お客様の様子	・競合店の出店の価格競争で、客単価が下がっている。
	スーパー(総務担当)	お客様の様子	・衣料品や住居用品、特に秋物の衣料品についてはまだまだ買い控えが続き、気温のせいもあり売上が上がってこない。食料品についてはほぼ前年並みで推移している。
	スーパー(企画担当)	お客様の様子	・競合店出店の影響は引き続きあるものの、前年程の猛暑はなく、お盆以降は雨天が続き、朝夕が涼しくなったため、夏物商材(特にアイス、飲料、牛乳)の動きが今一つであった。しかし蒸し暑さは増したため加熱調理からの敬遠から生鮮食品の動きが悪いなど、天候や気温の影響で客の購買意欲が刺激されなかった。
	コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・イベント等店外での出店の多い月であったが、その出店でも買い控える声をよく聞き、単価のアップに依然結び付かない。
コンビニ(店長)	来客数の動き	・マイカーを利用する消費者が増えたことで、駅立地のコンビニである当店は、精霊流しなどのイベント以外では活気がなかった。	
コンビニ(販売促進担当)	販売量の動き	・月末集計で量販店が前年比8%ダウン、コンビニが同3%のダウン、ローカルスーパーも同7%のダウンである。昨年と比べて台風が来なかったという点もプラスにはならなかった。	
衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・客が秋物衣料に向いている。以前は処分品も安値で売れたのだが、今は欲しい物しか購入しない傾向にあり、数量は少ないが値段は高くても良い物が売れる。	
衣料品専門店(店員)	来客数の動き	・競合店が多すぎて客数がなかなか上がらない。前年割れになっている。	

	衣料品専門店 (店員)	お客様の様子	・セールの時期で単価が低く、利益率も低い中で客が以前のように一人で何枚も買い上げるといった例があまりない。一部の客を除き、安くなっているが必要なものだけを一点、ないし二点買うという状況なので、結果として利益は減っている。その代わり普段来ないセール目当ての客もいるので、売上はあまり変わらない。
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・客数、客単価及び販売量の伸びがあまりない。
	家電量販店(店員)	販売量の動き	・エアコン、冷蔵庫の動きは良いが、液晶テレビの伸びが期待したほどない。
	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・購入の際、客が慎重になりすぎて時間がかかる。
	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・ここ何か月間、販売量が思ったように確保できない状態で、悪いときは前年を下回っている。
	その他専門店 [ガソリンスタンド](統括)	販売量の動き	・石油類についてはメーカー仕入価格は8月も値上となり、小売価格も転嫁せざるを得ない。8月は真夏日も続き、価格は値上がりしているが需要自体は順調である。
	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・例年お盆の帰省客が多いが今年は少なかった。それでも全体では昨年と同じような売上になっている。
	高級レストラン (スタッフ)	お客様の様子	・客層が変わってきた。若い人や、年配の婦人客などが目立つ。
	一般レストラン (スタッフ)	単価の動き	・以前に比べるとアルコール等の飲料の出が少なくなっており、客単価が沈んだまま平行状態になってきている。
	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・愛知万博が9月いっぱい終わるので、10月からは来客数は増えてくる。
	観光型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊・レストランの売上は前年を上回っているが、宴会が大きく下回っている。
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・来客数、単価とも目立った変動はみられない。
	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・海外旅行は低調だが、国内旅行は活発である。航空機利用の数は変わらない。
	タクシー運転手	お客様の様子	・暑いせいか昼の車の動きが悪く、その分夜になると町に人が多いのかタクシー利用が多くなる。
	タクシー運転手	来客数の動き	・今月はいろいろイベントがあったが、思ったほど客の動きはなかった。ただ会社関係のチケットを使う客が増えてきている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・天気が良かったのでイベント関係の客の動きは良かったが、全体としては横ばいの状態である。
	観光名所(職員)	来客数の動き	・観光施設については団体客数が激減し、20%近く減っている。ゴルフ場についてはコンペがかなり少なくなっており、土日の客数が例年に比べて結構な組数で減っている。
	ゴルフ場(支配人)	単価の動き	・客単価が上がらない。
	美容室(店長)	来客数の動き	・今月は今までで最低の売上である。暑すぎて客が来ない。
	設計事務所(代表取締役)	お客様の様子	・市町村からの建設工事の発注は、市町村合併が行われたことから手控えられていたが、今年度に入って新たな市町村として行政上必要な事業の発注が開始された。ただし、業務の数量は限られており、受注の競争も激しくなったことから全体としては仕事量が減っている。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・展示場来場者数が昨年比、先月比ともに減少している。
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・建売分譲の売出しを8月にかけてが、来場数が増えてきている。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・販売量、来客数、共にまだまだ出足が悪い。
	商店街(代表者)	単価の動き	・古書業界は、公共機関の予算大幅削減により、公共機関への本の納入が極端に少なくなっている。また、インターネットによる価格競争により、単価が数年前の半分や3分の1というも珍しくなくなった。

		商店街（代表者）	来客数の動き	・猛暑と雨のため、来客数がかなり減少している。また、商品構成においても賞味期限が入っているため、商品管理が大変である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・衣料品についてはバーゲンもほぼ終わり、8月後半については売れる商品がなくなるので、販売高が落ちる。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・消費税の総額表示や台風といった特殊事情により厳しかった昨年に比べ、その反動で今月は好調であった。しかし反動も落ち着きつつあり、客数は増えているが単価、売上が厳しい状況である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・中元商戦までは良かったが、後半になると昨年のような台風特需の購買が今年はなく、かなり苦戦をしている。
		乗用車販売店（管理担当）	お客様の様子	・客の動きとして、原油高等により新車の買い換え時期が延期傾向にあり、買い換える客もコンパクトカー等に乗りに換えている。整備のほうはまずまずである。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・盆から盆過ぎにかけ来客数が少なく、プライダル家具の動きも鈍い。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月が1年を通して大体いつも一番悪い月であるが、衆議院の解散総選挙があり、今月の後半になってその動きが顕著に表れてかなり悪い。
		高級レストラン（専務）	来客数の動き	・愛知万博の影響で全般的にどの業種もかなり悪い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・暑かったせいもあり、人出があまり良くなかった上に、衆議院の解散総選挙の影響も出てきて、2、3か月前から比べると非常に客足が悪い。
		通信会社（業務担当）	販売量の動き	・8月は例年お盆まで上旬の販売が伸びるのだが、昨年ほどの販売はなく、下旬も例月のように販売数が上がらなかった。週末の盛り上がりもなく、新規需要、機種変更共に台数が伸びていない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・毎年お盆のゴルフの予約がたくさん入ったが、今年はそれが全くなく、予約の組数が前年より2割ほど落ちた。暑いせいか、海や山のレジャーに行っているようだった。
		競輪場（職員）	販売量の動き	・例年ならば、この時期にはわずかながらでも上昇の実績が得られるはずが、横ばいを続けている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・盆暮れの時期でいいはずであるが、周りを見ても客が動いているようには見えない。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・夏枯れか売上が少し下がっている。美容業界に携わっている私たちは、売上の数字だけが景気の判断材料になるが、非常に動きが悪い。客離れもあるが一人ひとりの購買意欲が下がっているため、この先も平行線か、やや下降線のような感じだ。
	悪くなっている	一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・猛暑のせいもあり、客の動向がかなり鈍い。入荷量は少なくとも相場が上がりきれない。全国的に高温のため青果物が多く、入荷が少ないものも相場は上がりにくくなっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・5月中旬に郊外の大型ショッピングセンターがオープンして以降、月を追うごとに影響が出てきている。当社は店頭売上で約5～8%のマイナス、商店街は30～40%マイナスと大きな影響を受けている。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・暑すぎる夏により客足はさっぱりで、特に旧盆以降客足はばったり途絶えている。
企業動向関連	良くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事の発注件数も多く、当社も受注できた。1件あたりの受注金額は以前ほど高くはないが、この時期に受注できたことは当社にとって非常に大きい意義がある。
	やや良くなっている	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今年に入り、売上額は前年比110%近くを維持しており、相対的に物件量が増えている実感がある。月毎で波はあるものの、累計では伸びているため、景気全体としては上向きである。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の大手企業で6月の四半期決算にて、増収増益の話を目にする。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が少しずつ増えてきていて、受注残が半年先まで残っている。

	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連の動きとしては、今までは大手でも良いところと悪いところの格差があった。多少まだばらつきはあるものの全体的には、いい方向に向いている。多少なりとも半導体の在庫調整が進んでいる。
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先において、特に製造業は売上高が前年比伸びている。現状まだ単価は低いままであり、利益は落ちている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・客の様子からすると売上高が前年をかなり上回っているところが多い。特にタクシー関係の収入が増えているところを見ると、夜の仕事がかかなり伸びている。
	その他サービス業〔物品リース〕（役員）	受注量や販売量の動き	・器機の入替え、取引先からの新規設備等の見積依頼、また当社受態の契約件数も増加傾向である。
変わらない	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・春先の流れからいくと今年の夏はかなり期待できると思っていたが、6月末に発生した鳥インフルエンザの影響もあり、期待されたほど伸びてはいない。
	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・野菜全般の価格は、やや低めで推移している。
	繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・どこの工場も悪く、シーズンの切替え時期になって倒産するところがある。また、新規事業に挑戦してまだ成功していな工場、まだ勉強中という工場もたくさんあり、大変苦しい。
	精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量ということで回答したが、実質的に客の様子から不安な面も若干ある。
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・飲料水の出荷が少し増えたが、景気が良くなったとは言えない。全体の荷動きは悪かった。
	通信業（経理担当）	それ以外	・サービス業と小売業が順調に伸びているようであるが、建設業、土木業、製造業が苦戦している。企業情報としては、売上は横ばいであるが内部努力で利益を伸ばしている。設備投資もどちらかというと順調に伸ばしている。
	金融業（得意先担当）	取引先の様子	・当店の周りには土地柄、建設業者が多いのだが、公共工事の先細りの中、受注条件が厳しい状況にある。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・資金需要が低迷している。
	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・弊社の売上としては、前年並み弱で推移している。
	経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・契約件数は変わらないが、単価が下がる傾向にある。
経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・酒類の売上が前年比2～3%減となっている。一般店向け売上も前年比80%台と落ち込みがひどい。内、ビールは4～5%減と低調で、発泡酒が25～30%減と大幅に減少し、焼酎も7～8%減となった。	
やや悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・相対的に6～8月と受注売上高は銀行経由でも1割程度ダウンしている。また地元の商社を呼んで展示会をしたが、なかなか受注に伴うような手合わせはなく、見本程度に終わった。
	窯業・土石製品製造業（取締役）	取引先の様子	・特に中小企業は厳しい状況である。低金利で経済は安定しているが、雇用の問題や将来に対する不安から消費は伸び悩んでおり、景気は若干悪くなっている。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規金型の状況が悪く、修正、部品製作で急場をしのいでいる状況である。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体や自動車で元気のいい話はあるが、抽象的な話が多く、具体的な話がなかなか出てこない。現実に仕事の単価も半導体では低単価に変わってきており、受注企業も仕事量が激減している。
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・季節物の商品は多少動いたものの、それ以外の商品の動きが停滞していた。色々な業種の企業が乱立しており、業種の中で飽和状態となっており、売上が伸びていない。
悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き

	人材派遣会社 (社員)	求職者数の動き	・最近は見つけやすいせいか、長期の仕事を 受けるスタッフが少なくなった。仕事の案内の時点で 就職活動の期間が短くなった。
	求人情報誌製作 会社(編集者)	周辺企業の様子	・コールセンターや食品メーカーでの製造スタッフ、 倉庫内作業の求人が活発と同時に、全体的に人手不足 感がある。
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・中途採用市場における新規求人数は前年度比10%前 後の増加で引き続き堅調である。新規高卒求人の提出 状況も前年度を20%程度を上回る好調な出足となっ ている。
	民間職業紹介機 関(支店長)	求人数の動き	・雇用情勢が改善してきたことで、求人数が前年同期 比5%以上の伸びを示している。派遣社員・契約社員 の求人に加え、人材紹介・紹介予定派遣といった正社 員求人の伸びが加速度を帯びてきた。
変わらない	新聞社[求人広 告](担当者)	それ以外	・見せ掛けの数字は向上したが、パート・派遣など不 安定な雇用形態が増加しているため本質的なものでは ない。
	新聞社[求人広 告](担当者)	周辺企業の様子	・北部九州は、自動車産業や新空港開港を控え話題が 多いが、小売、百貨店などの流通業界は依然不振で、 総合的にはあまり変わらない。
	職業安定所(職 員)	採用者数の動き	・安定所にくる新規の求人数は以前から増加傾向にあ るが、その反面求職者が減少してきている。求人数が 増えているが、求職者に対する充足率がなかなか上昇 してこない。求人の質、求職の質との関連があるのだ ろうが、中身まで良くなったという感じではない。
やや悪く なっている	職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・新規求職者が前年同月比で二けた台の大幅な増加を 示しており、厳しい雇用情勢にある。
悪く なっている	-	-	-